

1. 校内生活に関する事項

1) 成績の評定、進級（卒業）

① 成績の評定

- 1 各学期末成績は定期考査および観点別学習状況の評価を考慮して定める。
1学期と2学期には中間および期末の2回、3学期には期末のみ1回定期考査を行う。
- 2 学年末成績の評定は、各学期末成績の平均で定め、その点数において次のように定める。
5：80～100点 4：65～79点
3：40～64点 2：30～39点
1：0～29点
- 3 当該科目の年間総授業時数の3分の1以上を欠課した者は、学年末考査を受験できずその科目を不認定とする。
- 4 評定1の科目は、単位の修得を認定しない。

② 進級(卒業)

次のa、b、cのいずれかに該当する者は原則として進級（卒業）できない。

- a 不認定科目が1科目以上ある者
- b 年間欠席日数が30日以上のある者
- c 就業態度で問題のある者

③ 追試規定

- 1 学年末成績において、評定1の科目を有する者は追試験を受け、合格認定を受けることができる。
- 2 追試験を受験できる者は進級（卒業）判定会議において受験を認められた者に限る。
- 3 3分の1以上の欠課により、学年末考査を受験できなかった者は、審議を経て、保護者出校の上指定した補習を満たせば、追試験を受けることができる。
- 4 追試験の結果、合格認定を得られなかった者は、原級にとどまるものとする。
- 5 定められた追試験を正当な理由なく受験しなかった者は原級にとどまるものとする。
- 6 3年生に限り、1学期末に欠点科目を有する者は、追試験を義務付け、その合格をもって、追加認定扱いとする

1. 校内生活に関する事項

2) 出欠席等に関する件

病気その他やむをえない事情以外は欠席、欠課、遅刻、早退をしないように心がける。

- ・ 欠席・遅刻
欠席・遅刻する場合は、BLENDを用い保護者から学校へ連絡する。後日、所定の欠席届・遅刻届を提出する。
- ・ 早退・外出
早退・その他所用による外出に際しては、学級担任に届け所定の用紙に事由を記入の上、学年主任・生徒指導部長の許可を受けなければならない。

1 授業の欠課

授業時間の2/3以上を受講しなかった場合は、その授業を欠課とする。

2 転学・退学・休学・復学

転学、退学、休学、復学をしようとする時は保護者、保証人連署をもって校長の許可を受ける。

(様式①②③④)

ア 休学とは、病気・その他正当な理由により3ヶ月以上欠席する場合で、校長の許可を必要とする。

休学した場合は、その年度の進級は認めない。

イ 休学の復学は、翌年4月の新年度からとする。

ウ 3ヶ月以内で長期の欠席がある場合は、その事由を書面をもって届出、許可を得なければならない。

エ 長期欠席の復学は事由消滅の時点からとする。

3 出席停止

本校が定める感染症・受験・忌引等、校長が出席しなくても良いと認めた場合は、出席停止とする。

必要に応じて証明書を提出する。忌引きの日数は次の範囲内とする。

- | | |
|-----------------|----|
| ・ 父母（養父母を含む） | 7日 |
| ・ 祖父母・曾祖父母・兄弟姉妹 | 3日 |
| ・ 伯叔父母 | 1日 |

様式①

令和 年 月 日

山口県鴻城高等学校 校長
金石 芳朗 様

科 年 組 氏名

転学願

私は、下記により転学いたしたいので、保護者・保証人連署をもってご許可下さいますようお願いいたします。

記

1. 理由

2. 転学先
所在地

以上

生徒氏名 印

住 所

保護者氏名 印

保証人氏名 印

様式②

令和 年 月 日

山口県鴻城高等学校 校長
金石 芳朗 様

科 年 組 氏名

退学願

私は、下記により退学いたしたいので、保護者・保証人連署をもってご許可下さいますようお願いいたします。

記

1. 理由

以上

生徒氏名 印

住 所

保護者氏名 印

保証人氏名 印

※これらの様式は、BLENDよりダウンロード可

様式③

令和 年 月 日

山口県鴻城高等学校 校長
金石 芳朗 様

科 年 組 氏名

復学願

私は下記により復学いたしたいので、保護者、保証人連署をもってお届けいたします。ご許可下さいますようお願い致します。

記

1. 理由

2. 期間 自 令和 年 月 日
至 令和 年 月 日

生徒氏名 印

住 所

保護者氏名 印

保証人氏名 印

様式④

令和 年 月 日

山口県鴻城高等学校 校長
金石 芳朗 様

科 年 組 氏名

休学願

私は下記により休学いたしたいので、保護者、保証人連署をもってお届けいたします。ご許可下さいますようお願い致します。

記

1. 理由

2. 期間 自 令和 年 月 日
至 令和 年 月 日

生徒氏名 印

住 所

保護者氏名 印

保証人氏名 印

※これらの様式は、BLENDよりダウンロード可

4) 課外クラブ活動

① 内容, 目標

1.内容

課外クラブは学年の所属を離れて同好の生徒をもって組織して、それぞれ次のいずれかに属する活動を行う。
文化的活動, 体育的活動, 奉仕的活動, その他の活動。

2.目標

ア 健全な趣味や豊かな教養を養い、個性の伸長を図る。

イ 心身を鑑練し、余暇を活用する態度を養う。

ウ 自主性、集団生活において協力する態度を養う。

② 課外クラブ活動への参加, 転部

1 ①の2に示す諸目標を達成するため、生徒は自発的に課外クラブ活動に参加することが望ましい。

2 課外クラブ活動からの退部、転部は学級担任および部長の許可を得て行う。

5) 災害発生時の処置

1 災害発生時の処置ならびに復旧作業に関しては、関係者の指示に従い、事故のないように気を付ける。

2 消火器, 消火栓, 警報機等の所定位置を確認しておく。

6) その他

1 公共物の保護は全生徒の責任である。学校の施設、備品を破損した場合は現品あるいは実費をもって弁償する。

2 所持品には校名・科名・学年・氏名を記入する。

3 金銭・貴重品の管理は自己責任でおこない、出来るだけ身につけておく。身につけられない場合は、教室に放置することなく、学級担任に必ずあずける。

4 許可なく集会・金銭の徴収・印刷物の配布貼付等を行わない。

5 登校より下校までは許可なく校外に出ない。

普通科 教育課程表

	教科	普通科	標準	1年	2年	3年		科目別		
		コース		普	普Ⅰ	普Ⅰ	普Ⅱ	単位数計		計
		クラス		3	2	2	1	Ⅰ	Ⅱ	
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 体 育 ・ 芸 術 ・ 外 国 語 ・ 家 庭 ・ 情 報	国 語	現代の国語	2	2				2	2	39
		言語文化	2	2				2	2	
		論理国語	4		2	3	3	5	5	
		文学国語	4		2	2	2	4	4	
	地 理 ・ 歴 史	歴史総合	2		3			3	3	27
		地理総合	2			3	3	3	3	
		日本史探究	3			3	3	3	3	
	公 民	公共	2	3				3	3	18
		政治・経済	2		3			3	3	
	数 学	数学Ⅰ	3	4				4	4	40
		数学Ⅱ	4		3	2	3	5	6	
		数学A	2		2			2	2	
		数学B	2			2	2	2	2	
	理 学 ・ 科 学	科学と人間生活	2			3		3		選択 あり 39
		物理基礎	2		3			3	3	
		化学基礎	2	2				2	2	
		生物基礎	2	2				2	2	
		物理	4				4		4	
		化学	4				4		4	
		生物	4				4		4	
	保 体	体 育	8	3	3	3	3	9	9	33
		保 健	2	1	1			2	2	
	芸 術	音楽Ⅰ	2	2	1			3	3	9
	外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3				3	3	36
		英語コミュニケーションⅡ	4		3	3	3	6	6	
		論理・表現Ⅰ	2		1	2	2	3	3	
	家 庭	家庭基礎	2	2	1			3	3	9
情 報	情報Ⅰ	2	2				2	2	6	
	課題研究	2			2		2		4	
総合的な探究の時間			3	1	1	1	1	3	3	9
単 位 数 合 計				29	29	29	29	87	87	269
特活	ホーム活動	3	1	1	1	1	3	3	9	
総合計				30	30	30	30			

※]は選択

情報商業科 教育課程表

	教科	情報商業科	標準	1年	2年	3年	科目計	合計
		クラス		1	1	1		
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	9
		言語文化	2	2			2	
		論理国語	4		2	3	5	
	地歴	歴史総合	2		2		2	4
		地理総合	2			2	2	
	公民	公共	2	2			2	2
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		4	6
		数学A	2			2	2	
	理科	科学と人間生活	2			2	2	6
		化学基礎	2		2		2	
		生物基礎	2	2			2	
	保健	体育	7	2	2	3	7	9
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	1	1		2	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	9	
	英語コミュニケーションⅡ	4		3	3	6		
家庭	家庭基礎	2		2		2	2	
専門学科各教科・科目	商業	ビジネス基礎	4	2	2		4	35
		簿記	4	3	3		6	
		情報処理	3	3			3	
		総合実践	4			3	3	
		課題研究	2			2	2	
		財務会計Ⅰ	3			3	3	
		原価計算	2			2	2	
		ビジネス・コミュニケーション	3	3	3		6	
		ソフトウェア活用	3		3	3	6	
総合的な探究の時間			3	1	1	1	3	3
単位数合計				29	29	29	87	87
特活	ホームルーム活動		3	1	1	1	3	3
総合計				30	30	30		

※] は半数同展

※ 課研・・・複数担当

※ 情報Ⅰ(2)・・・情報処理で代替

衛生看護科 教育課程表

	教科	衛生看護科	標準	1年	2年	3年	科目計	合計
		クラス		1	1	1		
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	9
		言語文化	2	2			2	
		論理国語	4		2	3	5	
	地歴 理史	歴史総合	2		2		2	4
		地理総合	2			2	2	
	公民	公共	2	2			2	2
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		4	6
		数学A	2			2	2	
	理科	科学と人間生活	2				2	6
		化学基礎	2		2		2	
		生物基礎	2	2			2	
	保健	体育	7	2	3	2	7	7
		保健	2					
	芸術	音楽Ⅰ	2	2			2	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	7	
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	4		
家庭	家庭基礎	2	2			2	2	
情報	情報Ⅰ	2						
専門学科各教科・科目	看護	看護情報	2			2	2	54
		人体の構造と機能	4	4			4	
		疾病の成り立ちと回復の促進	5		5		5	
		健康支援と社会保障制度	1	1			1	
		基礎看護	11	6	5		11	
		成人看護			3		3	
		老年看護	6		2		2	
		在宅看護				1	1	
		母性看護	2		1		1	
		小児看護				1	1	
		精神看護	2			2	2	
		看護臨地実習	21	2	5	14	21	
総合的な探究の時間			3					
単位数合計				32	34	33	99	99
特活	ホームルーム活動		3	1	1	1	3	3
総合計				33	35	34		

※ 保健(2)…人体の構造、母看各(1)で代替

※ 情報Ⅰ(2)…看護情報(2)で代替

※ 総合(3)…看護臨地実習(3)で代替